

<p>小学校名 呉市立昭和西小学校</p>	<p>指導者名</p>
<p>学年 第3学年 教科等 算数科</p>	
<p>単元・内容 「何倍でしょう」</p>	
<p>検索キーワード 数量の倍関係を捉えることが難しい</p>	
<p>○ 児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題場面を把握することが難しい。 ・量感がなく、漠然と立式している。 ・図が表す意味と式をつなげて考えることが難しい。 <p>○ ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文から数量の倍関係を読み取り，関係図に表すことができる。 ・数量の倍関係に着目して，何倍になるかを考えて問題を解き，説明することができる。 <p>○ 手立て</p> <p>① テープ図を用いて，数量がどう変わったのかを視覚的に捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題場面をイメージしやすいよう，問題文に合わせた赤，青，黄のテープを用意した。問題文を読む際に，それぞれの色のテープの長さがどれくらいであるのかを確認しながら提示した。 <p>② a と b の関係を捉えさせるために，「a の□倍が b」に当てはめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文の数量の関係にあたる場所に，まず線を引かせ，線を引いた部分を「a の□倍が b」に当てはめることを，毎時間徹底して行った。そして，語順通りに関係図に当てはめていくことで，テープ図と関係図，関係図と式をつなげて捉えることができるよう工夫した。 <p>③ ヒントカードを活用させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係図の枠だけをかいたヒントカードを用意した。関係図の四角の枠の中には「言葉」，矢印の上には「何倍」を書くというのを押さえ，何を基にして考えるのかを意識して関係図を完成できるようにした。 <p>④ 話型をもとに，関係図と式のつながりを説明させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え方を説明する話型を穴埋めにしたワークシートを用意し，関係図と式とのつながりを意識させた。 <p>○ 児童の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは関係図の四角の枠の中に思いつきで言葉を入れていたが，「a の□倍が b」に当てはめさせることで，正確に問題文から関係図に表すことができるようになった。 ・考え方を説明する話型を示したことで，問題場面と関係図，式をつなげて説明することができるようになった。 	



何倍でしょう
★練習問題★

紙ひこうきを飛ばして，とんだきよりくらべました。
赤は3mとびました。
青は赤の2倍，黄は青の5倍とびました。
黄は何mとびましたか。

① かんけい図をかこう。

赤 (3m) → ②倍 → 青 (□m) → ⑤倍 → 黄 (□m)

② 式と答えをかこう。
3 × 2 = 6
6 × 5 = 30
黄は 30 m

③ どのように考えたのかを書こう。
【かんけい図に基にする 方法】で考えます。

(赤) の (2) 倍が (青) だから 3 × 2 = 6 で
(青) は (6 m) です。
(青) の (5) 倍が (黄) だから 6 × 5 = 30 で
(黄) は (30 m) です。